授業名	**地球の鼓動と暮らす：災害・資源・文化を読み解く**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	The Earth's Dynamics and Human Life: Exploring Disasters, Resources, and Culture		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	２単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	吉田　孝紀		
副担当教員氏名	津金　達郎・飯沼　達夫		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	自然災害の地学的背景を理解し、説明できるようになる。
	β　信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	学習結果を整理し、論理的にまとめられるようになる。
	γ　信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度	⇔	地域の防災・景観・文化について科学的視点から課題を発見できるようになる.
授業の概要	長野県は山岳地帯にあり，日本で最も活動的な地殻変動にされている地域の一つである．地殻変動は大きな災害を直接的・間接的にもたらすが，同時に多様な地形・環境を生み出し，温泉や地下資源などの社会への利益となる．講義では長野県の景観を含む，資源に関わる地学的環境を解説し，更に地域毎の自然災害を説明する．その上で，災害教訓を伝える方法としての伝承について触れる．また，この具体的な事例として長野県諏訪地域を訪問し，地殻変動とその“恵み”について理解し，地学的資源と防災とのバランスについて議論する． 内容は以下のとおりである． □　講義（オンライン・９回）：長野県の地形・地質・資源と災害伝承を学ぶ． □　野外演習（１回）：諏訪湖周辺の地学的特性を知り，災害と景観・地下資源，さらに地域文化との接点を学ぶ．		
授業の計画	第１回	長野県の地質と地殻変動への招待（講義） 授業の目的、進め方、評価方法を説明した上で，長野県の地質と地殻変動について理解する。	
	第２回	長野県の地勢・地質（講義） 長野県の地形の特徴とその背景にある地質について理解する．	
	第３回	自然災害と地形・地質との関係（講義） 斜面災害や洪水，地震などの災害と地質との関係について理解する．	
	第４回	長野県の資源（講義） 長野県における景観や地下資源の成り立ちについて理解する．	
	第５回	長野県の災害と伝承１（講義） 長野県北部で生じた自然災害とその伝承について理解する．	
	第６回	長野県の災害と伝承２（講義） 長野県中部で生じた自然災害とその伝承について理解する．	
	第７回	長野県の災害と伝承３（講義） 長野県南部で生じた自然災害とその伝承について理解する．	
	第８回	諏訪地域の地形と資源（講義） 諏訪地域の地形と資源について理解する．	

	第 9 回	諏訪地域の災害（講義） 諏訪地域の災害について理解する.
	第 10 回	諏訪湖フィールドワーク（室内・野外演習） 諏訪臨湖実験所での講義と諏訪湖周辺を徒歩で巡る野外演習を実施する．これによってこの地域の地学的特性と災害の痕跡について理解する．また，室内講義によって地学的特性と文化との接点について理解する.
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	□　小レポート（各回 5 点×9）45 点 □　諏訪臨湖実験所での室内・野外講義レポート(室内講義と野外演習で得た情報をまとめ、諏訪地域の地学的特性と災害・文化の関係を考察) 35 点 □　事後レポート（長野県の資源, 災害, 地学的特性の関係についてまとめる） 20 点 レポートは全てオンラインで提出する．合計 60 点以上を合格とする.	
事前事後学習の内容	事前学習として長野県の地質の概要を調べる. 事後学習として諏訪での野外演習で得た情報を整理し、災害と資源の関係を考察する.	
履修上の注意	最終回の諏訪での室内・野外講義は信州大学諏訪臨湖実験所で行う 1 日がかりの講義・演習です．午前中の室内講義と午後の野外演習からなり，動きやすい服装が必要です.	
教科書	なし	
参考書	なし	